



① ウイニングホテル

かつての森屋百貨店の外観を再現した建物で、ホテルのほかレストランや演歌の大御所「北島三郎記念館」がある。



② 北海道第一歩の地碑 東浜桟橋（旧桟橋）

明治維新後、名実共に北海道の入り口となった函館に本州の人々が上陸し、第一歩をした場所。昭和43年開道100年を記念して建てられた碑。



③ 大三坂

昔、坂の入口に大三という家印の郷宿(ごうやど)があったのでこの名が付いた。教会や洋館が並ぶ石畳の大三坂は「日本の道百選」(昭和62年)(1987)に選ばれている。



④ 東本願寺函館別院・旧カール・レイモン居宅

大正4年(1915)伊藤平左衛門九世の設計により建立された日本最初の鉄筋コンクリート寺院。その後の函館の不燃建築普及に影響を与えた。平成19年(2007)に国の重要文化財指定。



⑤亀井勝一郎生誕の地

思想家・文芸評論家として著名な亀井勝一郎は、明治40年(1907)函館・元町で生まれ昭和41年(1966)に永眠した。終生函館弁を使い、函館の食を好んだ亀井の思想の根底には、函館の風土と人心があつたと言われている。



⑥ 教会群(函館ハリストス正教会・函館聖ヨハネ教会・カトリック元町教会)

函館聖ヨハネ教会、カトリック元町教会や国の重要文化財に指定されている函館ハリストス正教会が立ち並ぶ。夜はライトアップされ、幻想的な姿となる。



7 八幡坂

昔この坂の途中に、函館八幡宮があったことから「八幡の坂」と呼ばれていた。CMにも多数使われており、函館の坂の中で最も人気のある坂。



函館の坂道

異国情緒漂う洋館や、教会、和洋折衷の建物とともに函館港から函館山に伸びている幾本ものの坂道巡りは、西部地区散策の楽しみの一つです。函館の街は明治11年(1878)、12年(1879)の大火で、広範囲に焼失したため、街の復興にあたり坂道の直線化と、消火を助ける防火線として墓坂・二十間坂のような幅広の坂道の整備をしました。なにげなくそこに併む西部地区的坂道は、度重なる大火に遭遇しながら、そのたびに復興し進化してきた函館の街の証の一つともいえます。

てくてく坂道 大三坂・八幡坂編 ~坂が織りなす異文化のタペストリー~

所要時間 60分 距離 1.3km 消費カロリー 180kcal ※消費カロリーはおよその目安です。

